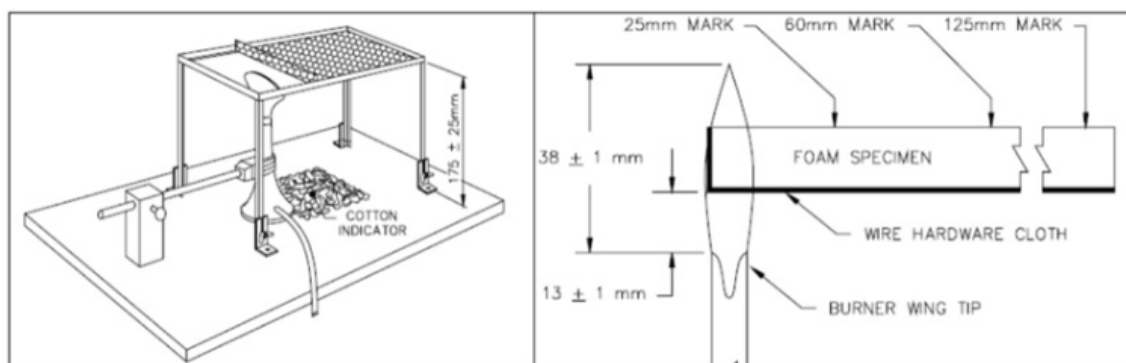


1. 燃焼試験名：プラスチック保温材の燃焼試験（水平試験）
2. 規格： JIS A9511-2017 JIS A 9526 ASTM D 4986
3. 試験体大きさ：厚さ 10mm×50mm×150mm 5ピース
4. 火源：魚尾灯型ブンゼンバーナー（炎高さ 38mm）接炎時間 60 秒
5. 試験方法：

試験体をネットにセットしてバーナーを外炎 38mm に調整して試験体端部に 60 秒間当てた後直ちに離す。その後、消火した時間と燃焼した距離を測定する。



6. 判定基準：
  - 燃焼距離は、60mm 以下、燃焼時間は 120 秒以内

尚、JIS では、保温材として EPS、XPS は試験方法 A でロウソクを使った試験で、3 秒以内に消えれば合格としている。しかし、熱溶融した炎の着火性は評価していない。また、フェノールフォームでは、試験方法 C として酸素指数（JIS A 7201 に準拠）しており、水平試験ではなく垂直試験を採用している。

7. 関連資料：
  - 日本建築学会 2014 「発泡プラスチック断熱材の防火性評価のために基礎的研究」  
[https://www.jstage.jst.go.jp/article/aije/79/705/79\\_909/\\_pdf](https://www.jstage.jst.go.jp/article/aije/79/705/79_909/_pdf)